

平成 23 年 11 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 23 年 11 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、好転：1.3% 悪化：51.3% DI 値：▲50.0% ポイント

売上高（＜増加＞－＜減少＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、増加：12.5% 減少：47.5% DI 値：▲35.0% ポイント









収益状況（＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：45.0% DI 値：▲38.7% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 23 年 11 月末現在）

 30 以上	 10～30 未満	 10 未満～▲10	 ▲10 超～ ▲30 未満	 ▲30 以上
--	---	--	---	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲33.3	▲50.0	▲66.7	▲100.0	▲66.7	▲80.0	▲50.0	▲63.6
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業	全 体
▲60.0	▲55.6	▲50.0	▲30.8	▲33.3	▲28.6	▲40.5	▲50.0
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>10月度は昨対+7.5%と大幅アップ。10/9第15回萩魚祭りは好天に恵まれ、+7%の集客増で3.6万人の人出。上半期（4月～10月）累計で+2.0%と前年をクリアしている。比較的天候に恵まれ、大きなシケ等がなかったことが好調の要因。11月も11/21時点で昨対+5%程度の推移と順調。農水省が推進する食料自給率向上キャンペーン「フードアクションNIPPON」で3年連続で当館が入賞。（2011年度は普及啓発部門）</p>	水産食料品製造業 萩市
	<p>年末のギフトシーズンはすでに中盤だが、昨年よりかなり低調。購入額が低めである</p>	水産食料品製造業 下関市
繊維工業	<p>厳しい状況が続いているが、ここにきて雰囲気的に悪さが増幅したように感じる。円高による影響は大きく国内生産は減少の一途で、海外シフトが益々進み国内を縮小しなければ採算がとれなくなった。海外シフトがどんどん進んで、多人数の我々の業態は国内人員の縮小を進めるため、雇用の悪化は避けられない状況。主婦の働く場、縫製業もほとんど無くなった。税金負担の話も国会で本格化し、日用雑貨品の消費減少にもかなり影響が出そうだが、衣類関係は特に影響を受けやすく、今でも悪化の一途であるところに、非常に悪い雰囲気になりました。</p>	下着類製造業
	<p>消費の減退が続いている。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>円高の影響で相変わらず厳しい。</p>	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	<p>工務店の受注が少ない状況であるので木材の発注もない。震災の前から需要も低迷しており、昨年と変わらず状況は悪い。震災の復興需要の話もない。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
	<p>先月で、小学校の材料受注が完了。次の物件の予定が無く、全般的な景況は悪い。組合員、個々の業況については不明。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市
印刷	<p>需要低迷及び価格競争による低価格で売上の増加が見込めない。用紙・インキ等の原材料の値上げにより利益の減少が予想される。</p>	印刷
	<p>今月も同業者より廃業の相談を受ける。後継者も育たず（継がせたくない）、従業員も次の就職先を早く探したがっている。そういう状況の中でこれ以上運営していくのは困難。負債が増える前に廃業したい。こう考える、経営者が高齢な企業は少なくない。</p>	

窯業・土石製品	当初の見込みは上回るものの前年同月比96パーセント。地区ごとの出荷状況はまちまちで、6地区中3地区が前年の実績を上回っている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていないが、今後の値上がり等が懸念材料。	生コンクリート製造業
	出荷量については、対前年比で骨材：64% 路盤材：88% 再生材：61% 全体では、対前年同月比：69%。11月は工事もなく暇な状態。	砕石製造業
一般機器	イタリアの政権交代等欧州の政情・金融不安定化がさらに拡大する等、景気の妨げとなる事象が散見されている。一方タイ王国の水害は一定の改善が見られ、復興の足掛かりも出てきている。	一般機械器具製造業 柳井市
	全体としては業況悪化傾向にある。	一般機械器具製造業 周南市
	特にマツダ関連の仕事を請けている会社にとっては現状は厳しい。	一般機械器具製造業 防府市
	親会社の受注額の減少により売上高が減少。今後の落ち込みがどの程度になるのか不安である。	一般機械器具製造業 宇部市
	10月と比較し、特に変化なし。	
	11月の操業度は、10月より若干プラスとなったが、11月の受注は低迷している。現在の受注・引き合い案件は、中国日系企業からの自動車（HV、EV関連）やロボット関連に使用されるモータ部品が多い。国内は、一時期低迷していた医療部品関係が、8月以降少し動き出している。金型生産の海外シフトや海外メーカーへの発注が進み、国内メーカーは今まで以上の低価格、短納期で対応しないと、受注が難しくなってきている。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	新規受注等明るい材料が入って来ない。国内案件も一段落で踊り場状態に突入している。海外案件は世界的不況で契約への前進が停滞したままである。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	なかなか出口の見えない低迷状態が続いている。	各種商品卸売業 柳井市
	各業種（食品・建設資材、運輸等）とも売上減少傾向。売上減少に伴い収益環境は回復も見込めず、現状を維持するのがやっとなのである。特に周南地区は出光興産の平成25年3月の石油精製中止と11月13日の東ソー工場爆発もあり、暗い環境にある。	各種商品卸売業 周南市
	相変わらず景気は低迷状態。食品の価格上昇傾向は続いている。	各種商品卸売業 山口市
	各業種とも売上減、利益減の苦しい状況が続いており、一般経費及び固定経費の削減に努めているのが	各種商品卸売業 下関市

	現状である。	
小売業	経営者の高齢化により店舗数が減少している。販売形態が専門店、ドラッグストア、通販、ネット販売と多様化している。大手化粧品メーカーも来年4月からネット上の店舗を計画しており、専門店の収益の減少が懸念される。11/16の化粧品業界の全国大会（神戸で開催）では、専門店としての特徴を活かした経営で頑張ることを決議した。	化粧品小売業
	冬の催事準備中、徳山駅リニューアル工事開始。	各種商品小売業 周南市
	昨年11月はエコポイント効果で大幅に前年同月比は増加となったが、今年はその反動で大幅に減少となった。又、土日に雨の日が多く、人出も減少した。	各種商品小売業 山口市
	先の見えない不況にあえいでいる。	各種商品小売業 下関市
	10月末に衣料品の核店舗が店舗面積を約半減させており、新規の大型家電販売店も工事中という事もあり、客数、売上共に前年を下回っている。	各種商品小売業 長門市
商店街	空店舗に美容院が開業し組合員となった。12/9～12/18は歳末売出し、12/23クリスマスイベントを開催の予定としている。震災の影響については一段落した感がある。景気についてはデフレ感が強く、財布の口はなかなかゆるまない。	萩市
	震災後、依然として東北物産品は買い控えられている。特に、福島県産品は惨憺たる状態。商店街内百貨店で、北海道物産展が開催され、当商店街内の物産店は売上が激減し、マーケットの小ささを改めて実感した。雇用と空店舗対策で開設した物産店であったが、震災の影響をまともに受けた。雇用対策補助金も年度末までであり、継続が危ぶまれる。	山口市
サービス業	組合員によると、近年、毎年11月は特に収益が悪い状況が続いていると話している。デフレ社会をより早く脱却して経済を立て直してほしい。	美容業
	組合員の業況が悪く、組合離れが続いている。組織が弱体化するので問題が多い。	理容業
	県内の整備専門事業者を対象に後継者についてのアンケート調査を実施した結果、事業者の平均年齢が59.5歳であり、65歳以上の高齢者が35%を占めていた。また、後継者がいない事業者が50%を占め、その内約半数が運営困難となったら廃業すると回答している。今後は後継者不在による廃業が増加するものと思われる。	自動車整備業

	<p>タイの洪水問題は一部商品に影響を及ぼし、欠品が続いていますが、その他の修理及び商品に関しては前月と変わらない。</p>	
	<p>先月と状況変わらず。システム開発案件が非常に少ない状況で、だんだん深刻化している。各々の企業で、この環境の変化に対して、どのように対応していくかは、各々の企業がアイデアをだしていくしかない。直近の環境には影響はなく、構造的にビジネスモデルが厳しいので、新しいモデルをいかに見つけられるかにかかっている。</p>	<p>情報サービス業</p>
	<p>依然として厳しい状況である、OSのWindows 7化に伴うパソコンXPからの代替需要やソフトウェアのWindows 7対応等の需要が出てきた。IT業界としては先に予定の消費税率引き上げ等によるソフトウェアの改修作業について多少の需要が望めるが中国地域全般のIT需要については未だ回復していると言った傾向は無いように感じられる。</p>	
	<p>国体後の需要が極端に減っている。</p>	<p>屋外広告業</p>
	<p>1 業界内の温度差がますます顕著になった。資金繰りの出来ない個店の廃業が目立ってきた。一方でこれらを買取り、拡張、チェーン化する企業もある。(経営努力の差と見るべきか)</p> <p>2 円高弊害(デフレ)はますます高まっている。食材の値上げを商品の値上げに転嫁できない現状にあり、このままデフレが続くようだと外食は大手に席卷され、地方の零細個店は、より精鋭化、専門化して、生き延びるしかないが、山口県としてのまとまり(得意点=特徴)がみられない。広域合併の弊害が出てきており、行政(市町)と業界の協働がますます薄れ、外圧(輸入食材等)により地域性(地産地消)が希薄になっている。このまま行けば地域食文化の消滅、地域零細外食産業の崩壊が危惧される。</p> <p>3 東日本大震災復興も利権の奪い合い、原発問題(特に汚染物質の処理)の不透明(放射能関連基準)さにより、他人の火事、人のうわさも75日になっている。復興支援法の施行に伴い、今すぐ、景気回復に専念し、国民全体の生活を守ることが必要だ。</p> <p>4 対前年比に変化なし。</p>	<p>飲食業</p>
	<p>来客数は、組合員每では増減が多少あるもの、押しなべて変わりはない。</p>	<p>旅館業 周南市</p>

	<p>10月の国体が終わり、行楽シーズンの11月だが、前年に比べ集客が落ちた。特にお昼御飯の予約が少なく、料金も低価格である。前年は、高額の商品が出ていた。3月の影響なのか、なかなか活発な動きが起こらない。例年この時期は、1年の内でも高額な河豚フルコースが最も売れるが、今年は殆ど売れていない。関東のお客様が、増えているが、一人旅とか食事なし（夕食）のプランに人気がある。時間等に余裕はあるが、なぜか高額商品は売れない。周辺の観光関係も苦戦をしている。</p>	旅館業 下関市
	<p>宿泊者数は前年同月比で26%の増加（国体分を含む）であるが、この増加傾向がいつまで続くか予測できない。雇用人員を増やした宿と現状維持と減らした宿で、伸びる宿と縮小する宿との格差が拡がりつつある。</p>	旅館業 萩市
建設業	<p>今月は、各社まずまずの仕事量ではあるが、相変わらず条件の厳しい仕事ばかりである。現状は、声を掛けられた仕事をこなしてなんとかトントンで稼働してこられた。また、今月に入り、耐震工事に関する問い合わせが、当組合に多数入ってきている。</p>	鉄骨工事業
	<p>中電への工事申請10月260件（当支部分225件）前年同月264件（同199件）。太陽光発電への申請23件、オール電化申請17件（前年は太陽光24件、オール電化31件）。LED街路灯への切替・新設申請は55件。受注状況は順調な様子。当組合員先でセキスイハイムより東日本地区応援として山口県より3名5日間の要請があり、先週より赴任している。</p>	電気工事業
	<p>関係する他の専門工事業者も技能者が不足（廃業）しており工事が遅れぎみで、元請が発注者に工期をのばしてもらおう要望をしている話も有る。元請業者が安価受注の為、社会保険加入等、法を守っている専門請負業者の採算が合わない状況が続いている。</p>	左官工事業
	<p>公共事業の発注はほぼ前年並み、引き続き低入札が続いており、収益状況はさらに悪化。上関原発工事が完全に停止した為、民間工事は大幅な減少。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>相変わらず仕事の発注が無い。各社支出を控え堪えているが、先の希望も無し。</p>	土木工事業 岩国市
	<p>11月の受注高は、対前年同月比8%。今年度の累計は、対前年比68%。</p>	土木工事業 萩市

<p>運輸業</p>	<p>輸送関係は、輸出・国内輸送共に横ばい。大手工場 の爆発事故による輸送面においての大きな影響は無 いものの、中小関連企業の稼働率が下がり輸送量の ある程度減少が見られたが、前年同月比の収益は変 っていない。輸送コストと環境面を考え海上輸送を 主点としている事には変わりはないが、陸上輸送業者 は一考を要する時期にあると感ずる。油の関係は変 わりなし。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>11月も共同購入のメリットが感じられ、軽油価 格：1ℓあたり、SS価格99.0～105.0円、 インタンク（タンクローリー配送の運輸会社の備蓄 分）価格96.0円であったが、11月17日に値 上げの発表があり値上げ傾向の様相。ETC事業も 先月よりやや多い。保管事業も順調。組合員の努力 による新規取引であるので、組合は経費削減に頭を 絞っている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
	<p>11月輸送稼働は昨年以上の数字を残せた。しかし、 経済、金融の世界的落ち込みの中、決して堅調な推 移ではない。原油価格が11月に入り急高騰、軽油 燃料価格は4円/ℓ以上上がりそうだ。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>当組合員関係のことだけかも知れないが、急に景況 が悪くなってきた。原因は今一つははっきりしないが、 大手生産工場がやや生産を手控えてきた影響も感じ られる。今後の不透明感が一段と増してきた感じだ である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+4. 4%（10月1日～11月20日分）。10月1日 ～31日分は+11.2%と増加、11月1日～20 日分についてはマイナス5.3%と減少となった。1 0月分は、山口国体で選手役員等の移動用に発行し たチケット分が大きいですが、一般需要も+3.8%増加 している。ところが11月になって、国体需要の反 動だけではないと思うが、大幅な減少に転じており、 今月最終10日間の取扱いが気になるところ。</p> <p>燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為 替に連動して変動。11月分は10月分より少し下 がり、昨年11月～今年2月に大幅上昇した事もあ り、11月分は前年同月比+4.2%となった。</p> <p>円高で輸出関連の収益が厳しい状態の中、光地区 で大手薬品会社の新しいプラント建設の動きなど明 るいニュースも聞こえていたが、11月13日に大 手工場で爆発事故が発生、コンビナート関連企業の 操業にも影響を与えているようで、年末の繁忙期を 控えて需要減少が大いに懸念される。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>

	組合員は本社事務所と事業部事務所を統合する等経費の削減、経営の合理化を図っている。	港湾運送業
--	---	-------